

花と緑の銀行だより

185号 2012.9



高岡市花壇コンクール審査風景／高岡市

目次

- ・花と緑の提言（高岡支店）…………… 2
- ・活動事例〈自慢の中庭の花壇（上市支店）〉…………… 3
- ・技術講座〈種播きから始めよう3〉…………… 4
- ・技術講座〈富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン〉…………… 5
- ・緑づくりコーナー〈庭木に適したサルスベリ〉…………… 6
- ・この人あり〈黒瀬川を再び桜の名所に（黒部支店）〉…………… 7
- ・お知らせ…………… 7



「みどりあふれる 万葉のふるさと」を 目指して

花と緑の銀行

高岡支店長(高岡市長) **高橋正樹**

今年の夏も厳しい暑さが続き、また一方では突然の大雨に見舞われる等、これまでになかったような天候となっております。このような中においても、頭取・グリーンキーパーを始めとした皆様のご尽力により、地域の公園や花壇が美しく保たれており、心より感謝申し上げます。

さて、富山県西部に位置する高岡市の歴史は古く、8世紀に越中の国府が置かれて以来、越中文化の発祥の地といわれ、国守として赴任した万葉集の代表的歌人である大伴家持が220首余りの秀歌を残しています。高岡市には、これらの歌に詠まれた水と緑が織りなす風光明媚な自然や景観、長い歴史の中で培われた薫り高い伝統と文化が息づいています。

高岡市では、このような歴史的背景を踏まえ、平成24年3月に緑化の推進に関する総合的な計画である「高岡市グリーンプラン」を策定しました。

このプランでは、まちにうるおいを与え、安全で快適な市民生活を実現すること、そのために市民と行政が一体となって緑化活動に取り組むこと、さらに、緑化活動を通して人と人とのふれあいや交流を図ることを通じて、心の通いあう真に美しいまち「みどりあふれる 万葉のふるさと」を基本目標にしています。

また、子供から高齢者まで、市民一人ひとりが、自らの手により、「わたしたちの手で花と緑あふれるまちを」をキャッチフレーズに身近なところから緑化に取り組むことによって、「みどりあふれる 万葉のふるさと」の実現を目指しています。

高岡市では、このプランに基づき、特に「万葉集に詠まれた植物の普及の推進」、「緑化の推進に携わる人づくり」に重点を置いて、緑化の推進に取り組んでいます。

高岡市の緑化推進を浸透させるため、次の取り組みを行っております。

高岡市を代表する公園である高岡古城公園で、かたかごを始めとした多くの植物に触れていただけるよう管理に努めるとともに、毎年多くの方にご参加いただいて実施している高岡古城公園特別清掃など、官民協働で公園の環境維持に努めております。その他、地域の公園についても地域住民で組織する公園愛護協力会により、除草等、公園美化にご協力いただくなどの取り組みも促進しております。

更に、今年初めて開催しましたバースデーメモリアルツリー植樹祭では、大勢の方にご参加いただき、お子様の健やかな成長と緑を愛する心を育てていただくことを祈って、高岡おとぎの森公園に高岡市の花木である「さくら」を植樹しました。

この他、様々な施策に取り組んでいるところですが、「みどりあふれる 万葉のふるさと」実現のためには、頭取・グリーンキーパーを始めとした皆様の一層のご理解とご協力が必要となります。「わたしたちの手で花と緑あふれるまちを」のキャッチフレーズのもと、官民が一丸となって、各種施策に取り組むことの大切さを申し上げ、花と緑の提言といたします。



高岡古城公園

自慢の中庭の花壇

上市町立上市中央小学校

校長 吉川良二

1 親しみのある中庭

1,2年生が内履きのままベランダから中庭に出て、花壇の花を見ることができます。通路には、玉砂利がしいてあり、芝生の区画もあるので休み時間には走り回っています。また、全クラスの教室または廊下から、中庭が見渡せます。季節ごとに、色とりどりの草花が咲いているので、とても心がなごみます。



2 栽培委員会の活躍

5,6年生の栽培委員会が世話をしており、県の学校花壇コンクールにおいて、何度も銀賞、銅賞に入賞しています。また、県土美化功労の表彰状もいただきました。花壇の形は、フランス式庭園であり、広い中庭の中心にはロダンの考える人のブロンズ像があります。また、栽培する草花は種をまき、移植してプラグ苗、ポット苗と順に育ててから植えています。おかげで、丈夫に育っています。

3 お年寄りの方との交流

本校の空き教室に、上市町の社会福祉協議会が



運営しているデイサービス「おたっしゃ家」があります。毎日30名くらいのお年寄りが来ておられ、本校の児童が休み時間に遊びに行くなどしています。お年寄りが中庭の花壇を見に来られることもあり、児童と触れ合うよい場になっています。

4 今年の花壇の特徴

春は、去年の秋に種から育てて植えたビオラ、キンセンカ、ゆっくりと吸水させ芽だしして植えたアネモネが満開となりました。新1年生も、喜んで中庭に出て見てくれました。8月現在、花壇の中心に、タイタンビカス、ヒマワリ、セイヨウアサガオのヘブンリーブルーが咲き、その周りをメランポジュウム、ニチニチソウ、ダリア、キンギョソウ、サルビア、センニチコウなどが取り囲んでいます。外側の花壇には、サフィニア、サフィニアブーケの全部の色の株があり見事に広がって咲いています。



5 校門と玄関

スタンドに大きめのプランターを置いて、たくさんの草花を飾っています。春は、色々な種類のビオラ、アネモネ、キンギョソウを、夏は、色々なセイヨウアサガオ、サフィニア、サフィニアブーケを中心にしています。季節ごとに中庭で苗を育て鉢植えをして、一番見ごろになった時に校門や玄関に飾るようにしています。これからも、季節ごとに美しい草花で来校者を出迎えたいものです。

冬から春に咲く花の種をまく

松本美枝子

雪の中で咲く花、雪解けとともに咲く花は本当に心が和みます。これらの種子は、秋に播きますが、生育適温の違いにより、開花時期に幅があります。これらの品目の原産地は、比較的緯度の高い地域ですが、ヨーロッパや中国、シベリアや南アフリカ等幅があり、そのことが、生育適温に差異がある原因と考えられます。…表

◎ 9月播き品目

真冬に咲く花として、パンジー、ピオラ、ストック、デージー、ノースポール等があります。9月中旬に播種し、10月中旬に大鉢（7～10号鉢）に3～5株植付けると年内に花が咲き、軒下や玄関に置くと、雪降る季節にも花が楽しめます。9月中旬以降は、夏の暑さも過ぎ、育苗しやすい時期でもあるので、是非やってみてください。これらの品目は、もちろん花壇に植え付けると、雪解けとともに生育し、花が咲きます。

雪解け後、いち早く咲く花としては、

- ① 球根類の足元を飾る花として、ネモフィラ、スイートアリッサム、ワスレナグサ等、小さい花できれいです。
- ② 大株で開花期間の長い花として、キンセンカ、ナデシコ、ポピー等もきれいです。
- ③ 草丈の高い花として、ハナナ、紫ハナナ、寒咲矢車草があり、花壇のアクセントになります。

但し、同一品目であっても、品種により特性が大きく異なります。



例えば、ネモフィラには、ペニーブラック、スノーストーム、インシグニスブルー、マキュラータの4品種がありますが、これらはただ単に花色が異なるだけでなく、後2者は前2者に比べ花が大きく、草丈が高く節間も長い。インシグニスブルーは、肥料が多すぎると倒伏しますが、花が大きく、青い色がきれいで、一面本品種を植えこんだ花壇は、とても印象的です。なお、ネモフィラは、嫌光性種子ですので、覆土は多めにしないと、発芽率が極端に落ちるので要注意です。

5月から咲く花もあります。

ルピナス、オダマキ、キキョウは、5,6月に花が咲きます。オダマキやキキョウは永年性で、開花期間は比較的短いのですが、次年度もまた花が楽しめるという利点があります。なお、オダマキには大変多くの種類があり、一重のオリズルシリーズの他に、八重や半八重等の品種が多数販売され、洋種であるにもかかわらず、日本庭園に良く合います。

表 冬から春に楽しむ草花を作るために

名前	和名	科名	原産地	播種時期	覆土	発芽期間	耐寒性	耐暑性	宿根性	開花時期	発芽適温	生育温度	
ストック	アラセイトウ	アブラナ科	地中海沿岸	9月	×	4～5日	○	×	×	11～6月	20℃	5～25℃	1年草
デージー	ヒナギク	キク科	ヨーロッパ	7～9月	×	7日	◎	×	△	12～5月	20℃	5～25℃	1年草
クリサンセマム	ノースポール	キク科	北アフリカ	9月	×	5～7日	◎	×	×	12～3月	15～20℃	5～20℃	1年草
パンジー	スマレ	スマレ科	ヨーロッパ	7～9月	必要	7～10日	◎	×	×	10～6月	20℃	5～20℃	1年草
ピオラ	スマレ	スマレ科	ヨーロッパ	7～9月	必要	7～10日	◎	×	×	9～6月	15～20℃	5～20℃	1年草
ネモフィラ	ルリカラクサ	ハゼリソウ科	カリフォルニア	8～9月	必要	10日	◎	×	×	3～6月	15～20℃	5～20℃	1年草
スイートアリッサム	ニワズナ	アブラナ科	地中海沿岸	9月	×	8～10日	◎	◎	○	11～6月	20℃	8～20℃	1年草
ミオステイス	ワスレナグサ	ムラサキ科	南アフリカ	9～11月	×	10日	◎	△	△	4～6月	15～20℃	5～20℃	1年草
カレンジュラ	キンセンカ	キク科	南欧	9月	×	8～10日	◎	○	×	11～6月	20℃	5～25℃	1年草
ポピー	シベリアヒナギク	ケシ科	シベリア	9月	×	7日	◎	×	◎	4～6	20℃	10～20℃	1年草
セントレア	寒咲矢車草	ユキノシタ科	欧州東南部	8月	×	7日	◎	×	×	12～5月	15～20℃	10～20℃	1年草
ハナナ	ナノハナ	アブラナ科	中国・東アジア	9月	必要	3～5日	◎	×	×	11～5月	20℃	15～25℃	1年草
ムラサキハナナ	オオアラセイトウ	アブラナ科	中国	9月	必要	7日	◎	○	○	4～5月	20～25℃	5～25℃	1年草
アケイレジア	オダマキ	キンポウゲ科	日本	9～10月	必要	21日	○	○	◎	4～6月	15～20℃	5～25℃	多年草
ルピナス	ノボリフジ	マメ科	南アフリカ	9～10月	×	7日	○	×	×	5～6月	15～20℃	15～20℃	1年草
キキョウ	キキョウ	キキョウ科	日本・中国	9月	×	7～10日	○	×	◎	5～6月	18～22℃	15～25℃	多年草
ハボタン	ハボタン	アブラナ科	ヨーロッパ	7月	必要	5日	◎	○	◎	11～3月	20℃	5～25℃	1年草
プリムラ	サクラソウ	サクラソウ科	コーカサス	5～7月	×	14日	◎	×	○	4～5月	15～20℃	15～20℃	多年草
ランタンキュラス	ハナキンポウゲ	キンポウゲ科	西アジア～欧州	9月	×	14日	◎	×	◎	4～6月	15℃	10～15℃	多年草

富山で育つ宿根草の組み合わせとデザイン

フジバカマ

職藝学院

教授 渡邊美保子

フジバカマは、日本の宿根草というイメージがありますが、奈良時代に中国から渡ってきた植物といわれています。万葉集では秋の七草として詠まれ、紫式部の源氏物語にも登場するほどですから、千二百年余りの間、日本人に長く親しまれてきた植物です。現在では環境の変化により自生しているものは少なくなり、絶滅危惧種に指定されていますが、毎年お盆の頃にはたくさんの苗が園芸店に並びます。これは、園芸種として栽培されているもので、自生しているものに比べて花の色が濃いので見分けがつかます。



写真1：フジバカマの園芸種のつぼみ、10月初旬

フジバカマの園芸種は、9月の終わりごろから赤紫を帯びた蛍光色のピンク色のつぼみをつけはじめます。茎も赤ワイン色に染まり、3つに裂けた緑の葉っぱを茂らせて垂直に立っているその姿は、品のよい美しさを感じますが(写真1)、つぼみが開くと、抜き忘れた、ぼさぼさの仕付け糸の



写真2：フジバカマの園芸種の花、11月中旬

ようになり(写真2)、なんともひょうきんな姿になってしまいます。つぼみが色づいてから花が咲くまでが思わせぶりに長いので、同じ花とは思えない変わりように、毎年のことながら頭が混乱します。

草丈は、1mを越えるほど大きくなりますが、草丈が高くなるわりには、暴れることもなく支柱の必要もありませんし、花壇の後ろのほうに植栽できるのでとても重宝します。日当たりがよく、水はけの良い土なら簡単に栽培できます。一株植えると地下茎が横に伸びて地面を覆ってゆき、3年ほどで、ひとかたまりのグループのような増え方をします。一度グループができると、その中には雑草が入り込みませんのでお手入れも楽になります。ただし、同じ場所に植えばなしにしていると、茎がやせて花つきが悪くなり、草丈も短くなります。また、ある日突然に、ぱたりと枯れて茎が黒くなり溶けたように消えてゆくことがあります。フジバカマは、地表のすぐ下の浅い所に根っこを張っているため、込み合ってくると養分の取り合いをして自ら枯れてゆくためです。広がりすぎたと思ったら、茎を3本〜5本くらいずつにまとめて、なるべく根に土をつけたまま株から切り離し、土壌改良をした場所に移植をします。

組み合わせは、夏から咲き始める、ピンク系のクサキョウチクトウやシュウメイギク、初秋から咲く紫色の宿根アスター、クジャクアスター(白花)などを混ぜて植栽しますと、自然風な花壇として楽しめます(写真3)。



写真3：手前から宿根アスター(紫色)、フジバカマ、シュウメイギク(ピンク)、クジャクアスター(白花)

—庭木に適したサルスベリ—

日本樹木医会富山県支部
樹木医 西村正史

夏、長い期間に渡って紫紅色や白色の花を咲かせて私達を楽しませてくれるサルスベリという花木があります。中国南部原産の暖地性の花木ですが、耐寒性があるため、県内でも庭木等として植栽されています。今回はこの花木を紹介したいと思います。

1. 特徴

この花木は、7～9月に今年伸びた枝の先端に円錐形にかたまった花を咲かせ、高さは3～7m程度になるので、遠くからでもよく目立ちます(写真1)。うちわ形の花びらには、ちりめん状のしわがあります(写真2)。長い間花を咲かせるので、百日紅(ヒャクジツコウ)という別名でも知られています。淡紅褐色の樹皮は薄くはげ落ちて、より淡い色となり、滑らかな肌となるので、非常にきれいで、花とともに観賞の対象になっています(写真3)。

最近では人間の背丈以下の矮性品種(写真4)も出回っており、狭い庭や高さが制限されている庭に適しているものと思われま

2. 維持管理

毎年大きな花をたくさん咲かせるためには、落葉後に堆肥と緩効性の化成肥料を土壤にすき込むか埋め込んでやる必要があります。是非とも実行してください。

ところで、サルスベリは、大きくなるにしたがって自然に樹形をつくりますが、冬期に太い枝を剪定してやると、そこから新しい枝が出て大きな

花をたくさんつけます。逆に、細い枝を剪定してやると小ぶりの花がたくさん咲くようになります。また、日当たりの悪いところや痩せ地に植えると、花は小さくなり、花の数も少なくなります。このような場合には、堆肥等を土壤に十分すき込んで、肥沃な土壤にすれば、花の数も多くなり花の大きさも改善されます。

この花木は病害虫には強いのですが、うどんこ病やアブラムシ類・カイガラムシ類が発生する場合があります。うどんこ病では発生初期にトップジンM水和剤の1000倍液やトリフミン水和剤の3000倍液を、アブラムシ類ではスミチオン乳剤の1000倍液やアディオン乳剤の4000～8000倍液を、カイガラムシ類ではスプラサイド乳剤の1000～1500倍液やカルホス乳剤の1000倍液を、それぞれ散布してください。

なお、今回掲載した写真はすべて富山県中央植物園で撮影したもので、括弧内は撮影日です。是非とも来園して頂き、いろいろなサルスベリを観賞してください。



写真2 紫紅色の花(左)と白色の花(右)
(2011年8月4日)



写真1 サルスベリ (2012年8月16日)



写真3 滑らかな樹皮
(2012年8月16日)



写真4 矮性品種
(2012年8月16日)



黒瀬川を再び桜の名所に

花と緑の銀行黒部支店石田地方銀行

グリーンキーパー 中村 勝也

北アルプスを背景に緑豊かな平野、黒部市石田漁港付近に富山湾へ流れる清流黒瀬川が流れ、河口近くの左岸には約150本の枝垂れ桜の並木があります。昭和初期まではソメイヨシノが咲き誇る黒部市の桜の名所として大勢の花見客で賑わいました。しかし、度重なる洪水被害のため、昭和54年に河川改修工事が行われることになり、桜木は全て伐採されました。工事の完了後、洪水はなくなりましたが、年が経つにつれ無くした物の大きさに気づき、桜堤を復活させようという声が高まりました。住民を中心に「黒瀬川に桜堤を復活させる会」（前名称）を結成し桜の復活に向け会報の発行、会員によるプランニング、地権者への説明会等活動を始めました。

平成6年4月に当時の建設省の「桜堤モデル事業」に認定され、平成10年に整備された黒瀬川左岸660mに記念植樹を全会員で行いました。また、多目的広場には「百代桜」と呼ぶシンボル桜を植え、会員1000余名の念願がかなえられ、役員一同涙しました。桜の手入れ、施肥、除草そして薬剤散布など会員一同、快い汗を流して管理に努めており

ます。

現在は「黒瀬川の桜堤を愛する会」として活動をしていきます。「黒瀬川桜まつり」も今年で14回を数え、老若男女の住民参加で楽しい一日を過ごしています。最近では、近くを流れる用水にホタルの復活を願い、水辺環境の保全に努めています。

こうした長年の活動が認められ平成23年に国土交通大臣賞「みどりの愛護・功労賞」また平成24年には日本さくらの会「さくら功労賞」を頂きました。これも地域の皆様と会員の方々のご協力のたまものと感謝しています。

黒部市の市花でもある「桜」を美しい姿で後世に残していくために今後も地域ぐるみで頑張っていきます。



〈お知らせ〉

「花とみどり・クリスマスフェア」を開催します

12月7日(金)～9日(日)まで中央植物園において、「花とみどり・クリスマスフェア」を開催します。

キャッチフレーズは『キラリ！冬の花飾り』

主な内容は

- ・「黄色のシクラメン」と「大型クリスマスツリー」の展示
- ・花と緑の体験コーナー（寄せ植え、フラワーアレンジメントなどの体験）
- ・コンテナガーデンコンテスト（庭先や玄関を花と緑で飾る方法の提案）
- ・花と緑のコンクール入賞作品展示（県内小・中・高生のポスター、標語など）
- ・花のタネ・根の無料貸し出し（県内各地から提供されたタネ・根の提供）

など、盛りだくさんの企画を準備しています。多数の入場をお待ちしています。



平成23年 フラワーアレンジメント



平成23年 コンテナガーデンコンテスト



平成23年 花のタネ・根の無料貸し出し風景

表紙写真：「高岡市花壇コンクール審査風景」〈高岡市〉

裏表紙写真：「秋の溪流」；ツリフネソウ（ツリフネソウ科）南砺市



「秋の溪流」；ツリフネソウ（ツリフネソウ科）南砺市



花と緑の銀行だより 185号

発行日 平成24年9月

編集発行 公益財団法人 **花と緑の銀行**

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-2425

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山県富山市婦中町上轡田42

TEL 076-466-4187

FAX 076-465-5923

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/>

県民公園頼成の森

〒939-1431 富山県砺波市頼成156

TEL 0763-37-1540

FAX 0763-37-1450

ホームページアドレス <http://www.bgtym.org/ranjyounomori/>

再生紙を使用しています。